



芸術を肌で感じる 国立西洋美術館

画像提供：国立西洋美術館

国立西洋美術館は、昭和34年、フランス政府から寄贈返還された株式会社川崎造船所(現川崎重工業株式会社)の初代社長・松方幸次郎が収集した「松方コレクション」をもとに、西洋美術全般を対象とする唯一の国立美術館として上野公園内に建てられました。モネの「睡蓮」やロダンの「考える人」など、世界的に有名な作品を多数所蔵。20世紀を代表する近代建築の巨匠、ル・コルビュジエが設計した建物は、平成28年に都内初の世界文化遺産にも登録されています。ル・コルビュジエによる本館と、弟子の前川國男が設計した新館を同時に鑑賞できる空間として建築ファンにも人気です。

総務部
世界遺産登録推進担当
松本直也さん



画像提供：国立西洋美術館

ここがあなたの新天地
芸術・文化編

生まれ変わった旧東京音楽学校奏楽堂

明治23年、東京音楽学校の校舎として建てられた日本最古の洋式音楽ホール。国の重要文化財にも指定され、「生きた文化財」として、建物の公開のほか、演奏会や音楽資料の展示を行ってきました。平成25年から耐震補強や保存修理工事などを行い、平成30年にリニューアルオープンしました。

